

様式第1号

会 議 録

会 議 の 名 称	平成30年度 第2回所沢市立所沢図書館協議会
開 催 日 時	平成30年10月2日（火）午前10時～12時
開 催 場 所	所沢図書館3階集会室
出 席 者 の 氏 名	出居正之、江原勝美、斎藤千里、喜多濃定人、秋本敏、工藤恭子、及川道之、
欠 席 者 の 氏 名	笹島千代子、中町綾子、保崎則雄
説明者の職・氏名	
議 題	(1) 第3次所沢市子どもの読書活動推進計画（素案）について (2) 第2次所沢市図書館ビジョン（素々案）について (3) その他
会 議 資 料	・ 所沢市図書館ビジョン ・ 第2次所沢市図書館ビジョン（素々案） ・ 第2次所沢市子どもの読書活動推進計画 ・ 第3次所沢市子どもの読書活動推進計画（素案） ・ 所沢市立所沢図書館協議会委員名簿 ・ 第2次所沢市図書館ビジョン策定スケジュール ・ 所沢市立所沢図書館設置条例、所沢市立所沢図書館設置条例 施行規則 ・ 「（仮称）第2次所沢市図書館ビジョンの策定について」諮 問書写し ・ 報告事項資料

担 当 部 課 名	教育委員会	教育長	内藤隆行		
	教育総務部	部長	美甘寿規	次長	師岡林
	所沢図書館	館長	中村まさみ		
		主査	多辺田幸子	主査	坂牧厚子
		主査	小澤朋子	主査	藤巻幸子
		主査	福嶋美穂	主査	鈴木実
		主任	小嶋めぐみ		
	所沢図書館	電話	04-2995-6311		

様式第2号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
図書館長	1 開 会
教育長	2 あいさつ
教育長	3 委嘱状交付
	<p>4 会長及び副会長の選出</p> <p>互選により、会長に江原委員、副会長に喜多濃委員を選出。これより、協議の進行は江原会長が行った。</p>
会長	<p>協議に先立ち、会議の公開についてだが、規定により原則公開となっている。この会議について公開としてよろしいか。</p> <p>委員了承</p> <p>※傍聴者2名入場</p> <p>会議録署名人は及川委員、工藤委員とし、記録方法については、要点筆記とする。</p> <p>委員了承</p>
事務局	<p>資料の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 所沢市図書館ビジョン ・ 第2次所沢市図書館ビジョン（素々案） ・ 第2次所沢市子どもの読書活動推進計画 ・ 第3次所沢市子どもの読書活動推進計画（素案） ・ 所沢市立所沢図書館協議会委員名簿 ・ 第2次所沢市図書館ビジョン策定スケジュール ・ 所沢市立所沢図書館設置条例、所沢市立所沢図書館設置条例施行規則 ・ 「（仮称）第2次所沢市図書館ビジョンの策定について」諮問書写し ・ 報告事項資料

事務局	<p>5 議事</p> <p>(1) 第3次所沢市子どもの読書活動推進計画（素案）について</p> <p>素案について概要を説明。</p> <p>平成26年3月に策定した「第2次所沢市子どもの読書活動推進計画」が平成30年度で終了することに伴い、現在、次期計画である「第3次所沢市子どもの読書活動推進計画」の策定を進めている。</p> <p>本計画の特徴の1点目として、これまでのような基本方針ごとの構成ではなく、取り組み主体別の体系とした点である。</p> <p>近年、スマートフォンの普及などにより、ティーンズ世代の読書離れが進んでおり、発達段階別の取り組みが必要とされている。取り組みを主体別にしたことで、発達段階ごとの取り組みが可能となり、各所属が連携した全庁的な取り組みの拠り所となるような計画となっている。</p> <p>2点目として、学校図書館の機能充実をクローズアップしていることである。小中学校で学校司書の配置が進んでいる現状もあり、校長を中心とした体制で学校図書館の機能をより活かすための内容となっている。</p> <p>また、本計画については、11月10日（土）から11月30日（金）までの期間でパブリックコメントを実施し、平成31年3月の策定を予定している。</p> <p>続いて各章ごとに概要を説明した。</p>
会長	<p>質問・意見等はあるか。</p>
委員	<p>72ページ【Q3】「あなたは、1か月で何冊本を読みましたか。」の回答で、「0冊」の児童が26年度は0%となっているのに、【Q4】で「0冊を選択した人は教えてください。」の設問に数値が入っているのは矛盾しているのではないか。75ページ【Q3】についても同様である。</p>
事務局	<p>72ページの26年度は1.6%、75ページの26年度は6.4%の誤りである。</p>
委員	<p>27ページ「高等学校における読書の習慣化への取り組み」について、現在はどういうような取り組みが行われているのか。また、31ページ「ティーンズ向けサービスの充実」に民間図書館との連携とあるが内容を伺いたい。</p>

事務局	<p>高等学校への現在の取り組みとして、団体貸出や高校司書との情報交換会を行っている。民間図書館については、市と構想を進めている、株式会社KADOKAWAとの連携を想定している。</p>
部長	<p>株式会社KADOKAWAとの連携については、ソフトの部分についてはまだ明らかになっていない部分もあるが、民間図書館を有する自治体は少ないことや、出版社が運営する施設であることなどから、連携による発展が見込めると考えている。</p>
会長	<p>本を読まない子ども0%は、朝読書を含めたものである。朝読書については今後の課題になってくると思うが、それについて意見はあるか。</p>
委員	<p>全校で静かに朝読書をする時間帯は、とても貴重な時間だと感じる。継続して実施することで、自ら読書をする習慣にもつながるので、取り組みを続けていきたい。</p> <p>しかし、数年後に新学習指導要領が全面实施される予定があり、高学年の授業時間が1時間増になると見込まれる。各学校により対応は異なるが、朝の帯の時間を使い授業時間を増やしたらどうかという意見があるため、朝読書に影響が出ることも考えられる。</p>
会長	<p>市内には、小中47校あるが、どのくらいの学校が朝読書に取り組んでいるか事務局で把握しているか。</p>
事務局	<p>100%である。</p>
委員	<p>朝読書の読み聞かせボランティアをしているが、ボランティアの確保が難しくなっている。ボランティアの情報交換の場や、研修会を図書館で行ってもらえれば、ボランティアの数も増えると思う。また、選書に関しても、現在の学校司書の勤務時間では相談する時間も限られ、ボランティアだけで選ぶのは難しい。専門の方のアドバイスがあるとよい。</p>
図書館長	<p>24ページに「地域団体・ボランティア等との連携」、34ページに「読み聞かせ・おはなしボランティアの育成・支援」という取り組みを入れており、小中学校や地域等で活動する読み聞かせボランティアに対する支援や連携等を行っていきたいと考えている。</p> <p>また、朝読書の取り組みにより本を読まない子どもが0%になるということに関しては、自発的な読書の達成度を測るための指標にはなっていないと思う</p>

	<p>ところがある。そこで、指標の取り方として、学校の授業以外での読書についての項目をアンケートに加えたいと考えている。</p>
委員	<p>朝読書を読書としてカウントするのは違うのではないかと思う。それ以外で読む冊数を指標とした方がよいと考える。</p>
委員	<p>朝読書は大事な時間だと考えている。朝読書の取り組みもデータとして出すべきだと思う。</p>
委員	<p>学校での取り組みも含めた計画であるので、朝読書は含めていいのではないか。</p>
部長	<p>学校での限られた時間の中で、朝読書を継続していくのは難しいことだと思うので、この計画の中で管理し、継続が難しくなった場合は解決策を考えていく必要があると思う。同時に、自ら本を読む習慣を作っていくことも必要だと考えているので、自発的に読書をした子どもの割合を把握できるような方法も検討していきたい。</p>
会長	<p>アンケートの取り方については、事務局で検討してほしい。</p>
委員	<p>新聞を取っていない家庭も多く、活字離れが進んでいるが、デジタル媒体についてはどう考えているか。</p>
図書館長	<p>本計画については、紙媒体の活字本を対象としている。幼いころからデジタル画面を見ることの影響については、現時点ではわからない部分も多いので、それを推奨することはできないと考えている。</p>
委員	<p>以前勤務していた図書館では、読み聞かせボランティア講座を開催していたが、参加した方には、その後何らかのボランティア活動に参加することを条件としていた。そこで朝読書や読み聞かせの人材を確保することはできていた。</p> <p>また、選書に関しては、教科書に載っている本のコーナーを設置し参考にしていただいていた。</p>
事務局	<p>所沢図書館においても、読み聞かせやストーリーテリングのボランティア講座を開催している。講座の開催については、学校にも通知をしており、学校ボランティアの方にも積極的に参加していただきたいと思っている。</p> <p>また、読み聞かせに向く本を置いたコーナーの設置やリストの配布も行って</p>

<p>会長</p> <p>委員</p> <p>事務局</p>	<p>いる。</p> <p>他に質問・意見はあるか。</p> <p>なし</p> <p>(2) 第2次所沢市図書館ビジョン（素々案）について</p> <p>策定までのスケジュール説明の後、素々案について概要を説明。</p> <p>第2次ビジョンでは、第1次ビジョン期間中の社会情勢や図書館を取り巻く環境の変化、その期間中の図書館の成果と課題等を踏まえて、基本目標の立て方を変え、事業施策のグループ分けも変更した。</p> <p>大きく変更した部分としては、新たに「読書を支える＝読書活動の推進」を目標の一つとして掲げたことである。</p> <p>また、事業施策を推進するための図書館の根幹となる機能を強化するため、効率性、専門性、安全性に関わる4つの項目を掲げ、推進に向けた運営施策として新たに設けた。</p> <p>続いて各章ごとに概要を説明した。</p>
<p>会長</p> <p>委員</p>	<p>質問・意見等あるか。</p> <p>図書館運営側としては、図書館は知の情報拠点という理念であったと思うが、利用者アンケートでは、図書館を居場所として求めている人が多いのが印象的だった。</p> <p>第2次ビジョンでは、居場所としての図書館についての記載は、59ページ「(3) 魅力ある空間づくり」にあたると思うが、この項目を居場所としての図書館の提供とするには、内容が不足しているように思えるがいかがか。</p>
<p>事務局</p>	<p>どなたにも気兼ねなく来ていただけるようにという気持ちを込めて59ページの内容を記載させていただいた。76ページ「(4) 安心して利用できる環境の構築」の項目についても居場所づくりに関連する項目である。</p> <p>現時点では、今ある空間をいかに居心地よく過ごしていただくかを考えていきたいと思っている。分館を含めそれぞれの図書館で、長く滞在して図書館の資料を使っただけ、自分の時間を過ごしていただくことを盛り込んだつもりであるが、伝わりづらいようであれば、表現の検討をさせていただきたい。</p>

委員	<p>65ページ「ウ 図書館利用の利便性の向上」の中に、「開館時間の拡大を望む声があります。」とあるが、アンケートにそのような項目を設けていたのか。</p>
図書館長	<p>そのような選択肢を設けており、自由意見欄にも記載があった。開館時間の拡大についてであるが、開館時間そのものを拡大してほしいという声もあるが、利用機会を増やし、利便性を求める声も多かった。</p>
委員	<p>第1次ビジョンでは、類似自治体との比較があったが、第2次でなくなっている。比較があった方が所沢の置かれている位置がわかってよいのでないか。</p> <p>また、所沢市の高齢化について書かれているが、高齢者への具体的なサービスについてあまり触れていないようだが、そこはどう考えているのか。</p>
図書館長	<p>高齢化に向けたサービスの展開は力を入れたいと思っている事柄である。計画の中に具体的な文言では記載されていないので、ご意見を参考にさせていただき検討したい。</p>
部長	<p>所沢市では、障害者の差別に関する条例を策定したところであり、高齢者に限らず、誰でも利用しやすい図書館を目指していく必要があると考えている。その視点からも施策がはっきりわかる表記にしなければならないと感じている。</p>
委員	<p>8ページの「出版の動向」で文庫本貸出猶予問題に触れているが、これは、図書館での文庫本の貸出をやめてほしいということではなく、文庫本くらいは買って読んでほしいという意図であると文芸春秋社の社長が発言している。そのため、実際は出版界の動向ではないと私は感じている。</p> <p>出版界の動向については検討したい。</p>
事務局 委員	<p>25ページの課題4項目目に「図書館職員の資質の維持、向上のためには、図書館経験年数が指定された研修にも継続して参加できるよう、中堅職員の確保が必須事項となっている。」とあるが、中堅職員の確保のために研修に参加させるのか、職員の資質向上のために参加させるのか、この文章では曖昧である。</p> <p>50ページ「計画の位置づけ」で、図書館ビジョンは、第6次所沢市総合計画、第2次所沢市教育振興基本計画に基づくとある。策定期間との兼ね合いも</p>

委員	<p>あるが、可能ならこれらの計画のどの部分にあたるのかも記載した方がよい。</p>
事務局	<p>(3) その他 次回協議会の日程について</p> <p>議事終了</p>
事務局	<p>6 報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館まつりについて 本館が、平成30年12月1日（土）・2日（日）、分館もそれぞれ11月中に実施。 ・ 「国立国会図書館デジタル化資料送信サービス」の利用開始について 10月2日（火）から、国立国会図書館がデジタル化した資料約200万点を国立国会図書館に行かなくても、所沢図書館内で閲覧および著作権法の範囲内で複写が可能となる「国立国会図書館デジタル化資料送信サービス」の利用を開始。 ・ 特集展示「トトロの生まれたところ・秋～宮崎駿さんに関する本～」について
副会長	<p>7 閉会</p>

平成 年 月 日

会議録署名人

印

印